2025

ここにしかない学びをみつけよう。

教科横断探究コース

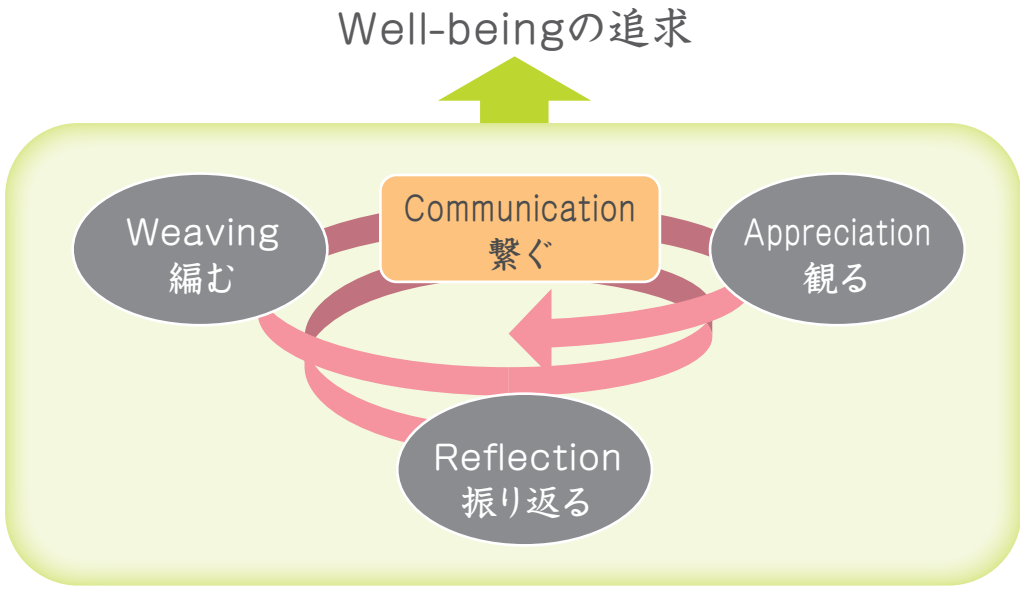
―義務教育専攻1年生のあなたへ

学部＋αの深い学び

このコースでは、自分の所属専修での学びにプラスして、教科や総合的な学習の時間、特別活動など教科等を横断した学びや探究的な学びを、他の専修の学生や他学年の先輩・後輩たちと一緒に作り上げていきます。
学部で学んでみて、さらに学びたい場合は、大学院に進学する道もあります。

Vision

教科横断探究コースでは、人やモノ、ディシプリン間のコミュニケーションを通して次のような資質・能力を発揮できる教師の育成を目指します。



Outcome

	1−2年次 [子ども]	3年次 [教材]	4年次 [実践]	プログラム全体を通して目指す資質・能力
観る Appreciation	●子どもの活動や遊びを共にすることを通して、感じ方や見方に気づくことができる。	●具体的な教材を賞味し、他者の見方と交わる中で、教材を異なる観点から価値付けることができる。	●子どもとの対話の中から教科・単元の学習テーマを構想できる。	他者や世界に共感して思いや感じ方を理解すること、自らの行動や実践を観ること。
編む Weaving	●一緒に活動することができる。 ●多様な活動に参加することができる。 ●子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想できる。	●既存の教材や学習活動を試行錯誤することを通して別の価値を発見し、新たな教材を生み出すことができる。	●教科・単元の学習テーマと子どもの関心をつなぐ教材や学習活動を教科横断的な視点から構想できる。	課題に対する探究活動の中で、教科の学びを編み直し、新たな知識、見方・考え方、スキルを創り上げていくこと。
振り返る Reflection	●子どもの具体的な姿・ことばから、自らの子どもの捉え方を振り返ることができる。	●授業者としての思いや行為と学習者のそれらを突き合わせながら、自ら構想した学習活動を振り返ることができる。		自己と他者、自己と社会とのつながり、自らの実践を省察すること。
	子どもを観るのではなく、子どもの側から観ることができる。	教材を教科、教科横断双方の視点から価値づけることができる。	「教科横断すること」の意味を自分なりに理解して学習活動を構想し、授業を批評できる。	

Learning Model

	1−2年次 ［子ども］	3年次 ［教材］	4年次 ［実践］
観る Appreciation	●子どもの活動や遊びを共にすることを通して、感じ方や見方に気づく。 （附属学校園、県内外小中学校）	●具体的な教材を賞味し、他者の見方と交わる中で、教材を異なる観点から価値付ける。 （附属学校園、県内外小中学校）	●子どもとの対話の中から教科・単元の学習テーマを構想する。 （附属学校園、県内外小中学校）
編む Weaving	●一緒に活動する。 （附属学校園、県内外小中学校） ●子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想する。 （子どもキャンパスプロジェクト） ●「子どもの側から観る」とは? （ゲストティーチャーから学ぶ）	●子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想する。 （子どもキャンパスプロジェクト） ●既存の教材や学習活動を試行錯誤することを通して別の価値を発見し、授業を実践する。 （附属学校園、県内外小中学校）	●子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想する。 （子どもキャンパスプロジェクト） ●教科・単元の学習テーマと子どもの関心をつなぐ教材や学習活動を教科横断的な視点から構想する。 （附属学校園、県内外小中学校）
振り返る Reflection	●子どもの具体的な姿・ことばから、自らの子どもの捉え方を振り返る。 （附属学校園、県内外小中学校）	●子どもの具体的な姿・ことばから、自らの子どもの捉え方を振り返る。 ●子どもキャンパスプロジェクトの振り返りを文章にまとめる。	●授業者としての思いや行為と学習者のそれらを突き合わせながら、自ら構想した学習活動を振り返る。 （附属学校園、県内外小中学校）

Voice

教科横断探究コース
第20期
山下 凛桜さん
義務教育専攻学校教育科学専修

・教科横断探究コースに興味を持ったきっかけは何ですか?

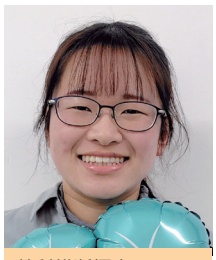
大学生活を送る中で意外と子どもと直接かかわる機会が少ないと思っていた時に、パンフレットを目にしたことがきっかけです。佐久島のしおさい学校で子どもと楽しそうに触れ合う写真をみて、私も参加して、子どもと触れ合う機会を増やしたいと思いました。

・教科横断探究コースでの活動を通してどのように感じていますか?

活動を通して、大変なことも多いけど、それ以上に新たな発見が多いと感じています。個性いっぱいの学生や先生方のいろいろな考え方やアイディアにいつも驚かされています。様々な見方や考え方に触れ、自分自身が成長できる活動だと感じています。

・今後、教科横断探究コースでどんなことをしていきたいですか?

色々な学校や授業の形を見て、知識を深めたいと考えています。教科横断といってもどのように実践しているのかわからないことが多いので、実際に見て学んでいきたいです。



教科横断探究コース
第20期
大重 凛果さん
義務教育専攻ICT活用支援専修

・教科横断探究コースに興味を持ったきっかけは何ですか?

小学校教員を目指していて、大学院進学に興味があったのでポスターを見たことがきっかけです。学ぶ楽しさを伝えられる授業をしたいと考えていたので、教材研究ができるということに興味を持ちました。

・教科横断探究コースでの活動を通してどのように感じていますか?

コースでは、子どもキャンパスなど、子どもと関わるイベントへの参加や、その準備を中心に活動しています。普通の授業では直接子どもと関わる機会が少ないので、活動を通して得られる気付きがたくさんありました。自分たちで活動の方針を考えることは大変ですが、やり遂げたときの達成感の方が強いです。

・今後、教科横断探究コースでどんなことをしていきたいですか?

実際に子どもとの関わりを通して得られた気づきを生かして、子どもが学びを得られるような活動を行うことです。楽しんで学べる活動を考えていきたいです。

Check!

コース説明会

4月　8日（火）12:30～13:00
4月15日（火）12:30～13:00
4月22日（火）12:30～13:00

教育人文棟２F 202演習室（予定）
※内容はすべて同じです。

体験授業

毎週火曜日　教育人文棟２F

Q. どうしたらコースに入れますか？
A. 7月中旬に学務ネットで募集が始まります。出願期間は7月中旬～9月中旬で、9月下旬に面接を経て、合格した場合、10月中旬からコースに所属することになります。まずは、学務ネットのお知らせを見逃さないようにしてください。

Q. 教育支援専門職養成課程に所属していますが、コースに入れますか？
A. 教科横断探究コースは、学校教員養成課程義務教育専攻向けのコースのため、申し訳ありませんが、義務教育専攻所属の方以外は出願いただけません。

Q. コースに入るのに費用はかかりますか？
A. コースに所属するための費用はありません。
なお、コースの活動で様々なところに行くときには、交通費等がかかります。

Q. 大学院には必ず行かないといけませんか？ 今はまだそこまで考えられないのですが。
A. コースの学びは、学部4年間で完結します。さらに学びを深めたい場合、教職大学院で学ぶことも可能です。教職大学院でも、学部と同じく、所属のコース・系での学びにプラスして、教科横断探究コースの学修を行います。大学院のことはまずは考えなくとも、コースの活動内容に少しでも興味があれば、コース説明会や体験授業にお越しください。

国立大学法人
愛知教育大学
AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

お問い合わせ先
〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
愛知教育大学 教務企画課教育課程係
Tel:0566-26-2164 E-mail:kyouikukatei@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

教科横断探究コースHP
https://www.6ikkan.aichi-edu.ac.jp

コース公式LINE
最新情報配信中